

生活できなくなる方がいる等、住民生活に甚大な影響をもたらす。一旦、一部路線廃止、減便を認めた上での附帯決議より、中植議員提出の予算編成を求めた組み替え動議の方が、住民の皆様にとって真に必要なものであると考え、本附帯決議に反対する。

【反対討論】中植 昭彦

住民の移動手段を求める附帯決議であるが、具体的な方法が明示されていない。また附帯決議に法的拘束力はない。また、本議案は一般会計予算に賛成が前提であり、議員全員で合意形成した移動手段の確保を求めるのであれば、別議案で上程することも検討、配慮が必要ではないか。議員全員での合意形成を無視するものであり、到底納得できるものではない。以上のことから反対する。

◇教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

的場 麻子 氏

◇能勢町議会会議規則の一部を改正する規則について

「標準」町村議会会議規則の一部改正がされたことに伴い、議会への欠席事由を整備及び請願書の記載事項等を改正。

◇能勢町議会委員会条例の一部を改正する条例について

能勢町事務分掌条例の一部改正に伴い、所管する部の名称を変更するもの。

◇能勢町議会政務活動費の交付に関する条例の全部を改正する条例について

政務活動費の交付について、年1回の請求後、一括前払いとしていたものを実績報告に基づいて事業完了後の交付とするための改正。

◇少人数学級の推進を求める意見書について

提案説明 中西 顕治

教育現場は、さまざまな課題に直面している上に、現在は新型コロナウイルスも、いまだ収束が見込めない状況である。個別のケースへの対応と、今後も起こりうる新たな感染症対策も可能にしていくためには、教職員の質を高めるとともに、教職員数の拡充をはかり、子ども一人一人に十分対応しうる体制と個々の距離の確保が重要である。本町小中学校においては、児童生徒の減少に伴い複数学級編成に苦慮している。国は、現在小学校一・二年生のみ35人となっている学級編成の標準を早急に小中学ともに30人引き下げ、少人数学級編成を推進するよう要請する。

賛 否

否決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	議長

注：議長は採決に加わりません。

総務民生常任委員会報告

委員長 伊木 真由子

所管部局：総務部

交通対策について、以下の内容で調査研究を行いました。

1月22日 開催

◇ 新しい地域交通システムについて

新しい地域交通システムの具体例について、国土交通省、近隣自治体の資料を集め調査を行いました。（国と能勢町地域公共交通会議の動向を注視し、適宜委員会を開催し継続して調査・審議を行うこととしました）これまでの調査をまとめ、中間報告書とすることについて協議を行いました。中間報告書については、町ホームページでご参照いただけます。

2月26日 開催

◇ 地域公共交通会議の報告について

総務部より2月12日開催の第3回能勢町地域公共交通会議の報告を受けました。